

富屋地区 上横倉町自治会

●加入世帯数：55世帯

●加入率：100%

活動内容

上横倉自治会は、国道119号線と国道293号線が交差した中徳次郎交差点をさくら市方面に向かい、田川橋を超えた田園と山間を背景とした風光明媚なところにあります。

上横倉町の町内戸数は現在55戸あり、全戸自治会に加入している状況です。町内に於いては、以前より自治会に加入するのは当前のことと捉えており、諸先輩の方々が日々努力された成果であると思っております。

活動状況

(1) 定例総会

毎年3月下旬に定期総会を開催し、前年度の活動報告等の結果を踏まえ、新年度の年間行事計画の承認を得て、活動を行っております。

令和4年度定期総会では、出席34名＋委任出席8名合計42名の出席者でありました。

今年度は、上横倉町の獅子舞が新型コロナウイルスの影響で2年連続中止となっていたため、是非とも実施願いたいと町民からの強い要請があり実現出来たことです。

(2) 農道等の草刈り

地域の特性から農地所有者が多く、特に田川堰から引いた用水路の清掃と付随道路の草刈り、農道や国道等

の草刈りが主体であります。

また、町内に自治会共有地が3か所あり、各班に分担し草刈りを行っております。年間6回の草刈り等があり、合計165名の参加を得ております。

(3) 獅子舞奉納

毎年8月15日に、町内一体となって多藤神社に奉納している上横倉町の獅子舞は、宇都宮市の「無形文化財」と併せ「みや遺産」の双方に登録されており、町民にとっては誇りに思うと共に重要な財産であります。

当日は、お盆の真ただ中でありましたが、全戸8時30分に集会所に集合し全員協力のもと準備段階の飾り付けから始まりました。

笛の音に合わせて、集会所から列を成し多藤神社に参拝獅子舞を奉納する一大イベントであります。

大人・子供を含めた事前練習2日間と当日本番、そして獅子世話人引継ぎで合計148名の協力でした。

(4) 全市一斉清掃

町内の中心には、交通量の多い国道293号線を有していること、そこから南下し河内町方面に抜ける主要地方道上横倉下岡本線沿が有ります。更に、東北自動車道両サイド道路が有ることから、大別2班に分かれ燃えるゴミ・燃えないゴミ袋を持ちゴミ拾いを行っております。

ドライバーのマナーが年々悪化しており、ペットボトル・空き缶のゴミの量が多くなっていると思われます。悪質者は、目一杯のゴミ袋を投棄したり、家電品を投棄したりで困惑しております。

年間3回の全市一斉清掃で121名の参加でありました。

協力団体

(5) にこにこ会

①集会所清掃

にこにこ会（老人会）の加入者は、これまで上横倉の自治会活動に中心的な役割を担ってきた人たちで、今後も大いに助言を頂きたいと思っているご老人方の団体です。

にこにこ会の活動としては、年に2回集会所のフローアや窓ガラスの清掃をしたり、敷地内の草むしりと土手の草刈りを実施し、気持ちよく会議が出来るように内外共にきれいにしております。

②神社の草刈り

上記集会所の清掃と併せ、多藤神社の表参道の草刈り清掃も並行して2回行っており、町内の参拝者は勿論のこと「とみやふるさと散策マップ」を片手に外部者も参拝にやってくるので、大いに助かっております。

③児童見守り隊

富屋小学校通学児童が12名おり、交通量の激しい国道293号線沿いを徒歩で中徳次郎交差点まで行くことになるので、交通事故に巻き込まれないように児童見守り隊

として連日安全確保に活躍を頂いております。

①②③合計224名でありました。

(6) 育成会

①生き物調査

育成会は、小学生以下の子を持つ親の会であり、現在10家族14名の子供達が活発に参加しています。

毎年夏休みの思い出作りとして、田川堰から引いている水をせき止め、田んぼの用水路で子供たちに生き物調査と称し魚捕りを楽しませております。

地域として自然環境に恵まれてはいる水をせき止め、田んぼの用水路で子供たちに生き物調査と魚捕りを楽しませております。

地域として自然環境に恵まれてはいるものの、普段の生活の中でそうした機会がないことや、生き物へのいたわりの気持ちを醸成して行く観点から、大変重要であると思っております。

また、生き物調査が終了してからは、田川橋付近の枝垂桜の木の下に、環境美化の一環として全員でひまわりの種をまき、地域の人達やドライバーに楽しんでもらっております。



②獅子舞

上横倉の獅子舞については、上記に記した通り宇都宮市の「無形文化財」と「みや遺産」の双方に登録されており、町民にとっては誇りに思うと共に大変重要な財産であることから、こうした伝統行事を将来に渡し引き継いでいくため、子供たちは大人と一緒に練習と本番に大活躍をしています。

当然ながら、大人獅子として踊っている30代の親たちは、子供たちの年代に踊っていた経緯があることから、親子・地域の絆としても自然に受け継がれていくものと捉えております。

①②合計63名でありました。

